

# 草木ダムにおける防災操作（洪水調節）について ～ 8月26日洪水（雷雨）における洪水調節効果～

草木ダム管理所では、8月26日の雷雨により発生した洪水に対し、洪水の一部をダム貯水池に貯めて、下流河川の水位低減を図りました。

（概要）

## 1. 防災操作について

- ・ 8月25日12時から26日7時10分までの約19時間で、草木ダムの流域では、167ミリメートルの雨量を観測しました。
- ・ 草木ダムでは、26日3時30分から防災操作（洪水調節）を開始し、ダムへの最大流入量毎秒約646立方メートルに対して、毎秒約134立方メートル（流入量の約21%）をダムに貯留しました。

## 2. 洪水貯留効果について

- ・ 草木ダムの防災操作（洪水調節）により、渡良瀬川の高津戸地点（みどり市）において、はん濫注意水位（3.30メートル）に迫った水位を、2.88メートルへと低下させた水位低減効果（洪水貯留効果）があったと推定されます。



令和6年8月27日  
独立行政法人水資源機構 草木ダム管理所

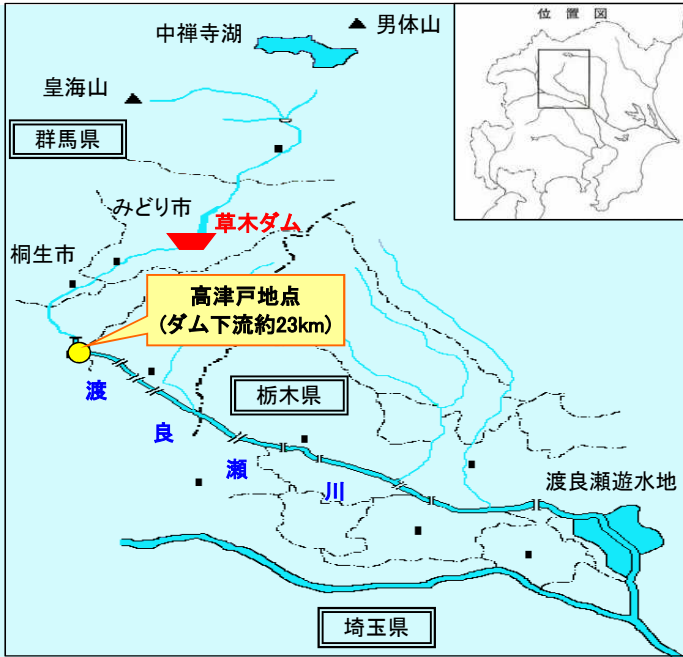
発表記者クラブ

桐生記者クラブ

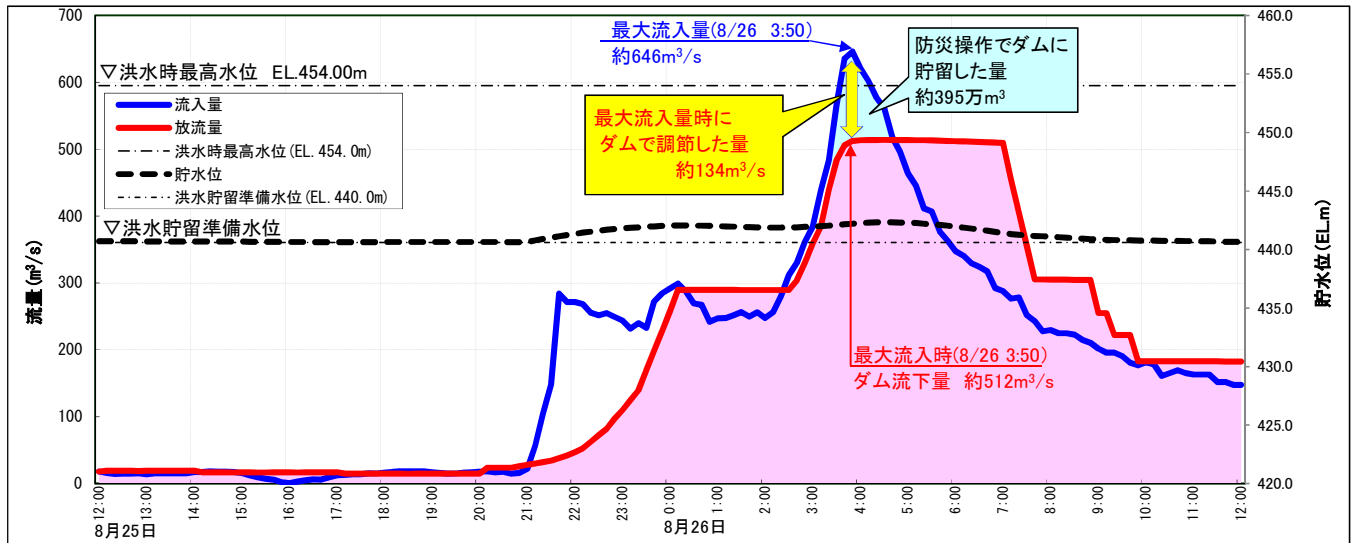
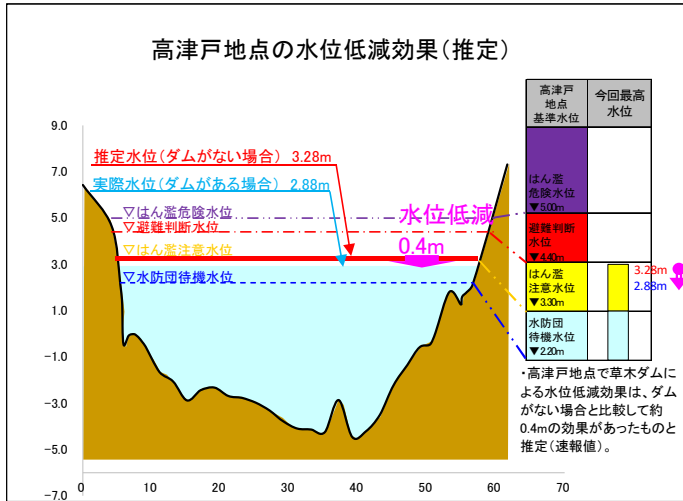
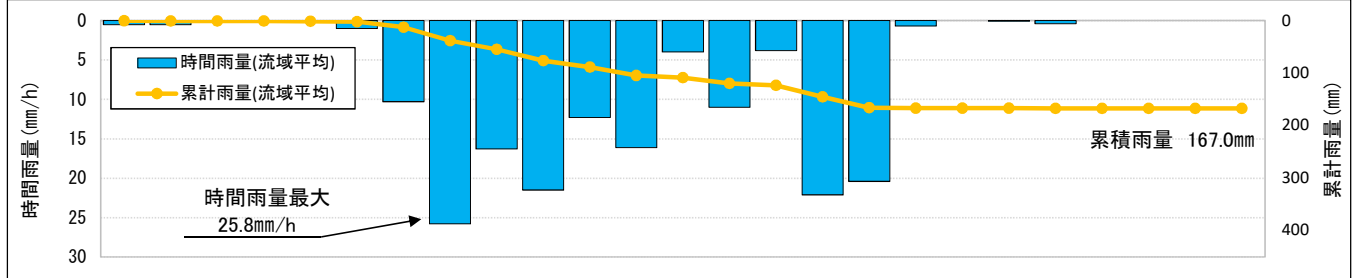
問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 草木ダム管理所  
所長代理 梅田（うめだ）  
住所 群馬県みどり市東町座間564-6  
電話 0277-97-2131

# 令和6年8月26日洪水(雷雨)における草木ダムの洪水調節効果



- ・ 8月25日12時から26日7時10分までの約19時間で、草木ダムの流域では、167mmの雨量を観測しました。
  - ・ 草木ダムでは、26日3時30分から洪水調節を開始し、ダムへの最大流入量約646m<sup>3</sup>/sに対して、約134m<sup>3</sup>/s(流入量の約21%)をダムに貯留しました。
  - ・ 草木ダムの洪水調節により、高津戸地点で氾濫注意水位に迫った水位を2.88mへと低下させた水位低減効果があったと推定されます。
- ※数値は「速報値」であり、今後変更の可能性があります。



※各数値は速報値